

## トマトセンター実績検討会

### 昨年度の販売上回る

JA利根沼田トマト部会は12月16日、伊香保町のホテルで令和7年度の出荷実績検討会を開き、生産者やJA、関係機関ら59人が参加しました。

出荷量は98万8,110箱/4kg(前年比97.4%)、販売金額18億5,194万円(前年比103.8%)となりました。また、平均単価も前年度より上回りました。

各市場からは情勢報告や販売経過、産地への要望があった他、農業事務所などによるトマトの栽培についての講習がありました。

当日は優良出荷者表彰も行われました。主な受賞者は次の通り



実績検討会の様子

#### 【出荷量の部】

最優秀賞=井上 信彦

優秀賞=中村 浩紀

優良賞=新木 和弘

#### 【秀品率の部】

最優秀賞=金子 昭二

優秀賞=竹之内 智史

優良賞=松井 和輝

#### 【中心階級率の部】

最優秀賞=竹ノ内 智史

優秀賞=鈴木 優夫

優良賞=中村 公紀

## JA利根沼田×JR×昭和村

### 副業制度で農業支援

12月18日、高崎市のJR東日本高崎支社でJA利根沼田とJR東日本高崎支社、昭和村で連携して農業支援を行う「援農プログラム」を発表しました。同プログラムは、JR社員の副業制度を活用し、社員の心身の健康増進と農業現場の人手不足解消を目的としています。

田村組合長は「今回の取り組みを通じて、地域農業の発展に寄与していきたい」と話しました。



昭和村産の野菜を手にする田村組合長⑥と樋口支社長⑥と高橋村長⑥

## 群馬県きのご振興協議会

### 利根沼田産のキノコを販売

群馬県きのご振興協議会は1月18日、高崎駅で「群馬のきのご消費拡大キャンペーン」を開きました。特設ブースでは菌床椎茸やマイタケなどの8種類のキノコが販売。一般には市販されていない雪割茸や谷川茸は特に人気で早くに完売し、多くの来場者で賑わいました。



販売会の様子

## 令和8年度新採用職員

### 期待を胸に 新採用職員内定式

12月15日、本店で新採用職員内定式が開かれ、令和8年度の内定者4名に田村組合長が内定証書を授与しました。内定者は3月に入所式を迎え、研修後、4月にそれぞれの部署へ配属される予定です。



挨拶する田村組合長

## JA利根沼田×川田小学校

### 熊撃退スプレーを贈呈

JAは12月17日、沼田市の川田小学校に熊撃退スプレーを贈呈しました。川田地区では冬になり熊の目撃情報は少なくなってきましたが、昨年では学区内でも5件の目撃情報があったとのこと。贈呈された熊撃退スプレーは、普段は職員室に常備され職員がすぐに対応できるようにし、校外学習などの場合は同伴する職員が常備するようになりたいとのこと。



今井幸生校長⑥にスプレーを贈呈する田村組合長⑥